

濱中新内局が発足

The Tenda
Journal
天台ジャーナル

広報天台

2006 年 (平成 18 年)
1 月 1 日 日曜日 (毎月 1 日発行)

1 部 50 円 (消費税込・送料別)
発行所 / 天台宗出版部
発行人 / 出版室長 工藤 秀和
〒520-0113 大津市坂本4-6-2
天台宗務庁内
電話 077-579-0022 (代)
Eメール / T-Press@tendai.or.jp

総登山・総授戒
あなたの中の
仏に会いに

謹んで新年の
お慶びを申し上げます
天台宗
一隅を照らす運動総本部



12月12日
写真左から小林総務部長、谷教学部長、壬生法人部長、濱中宗務総長、源田社会部長、山本財務部長、秋吉一隅を照らす運動総本部長

◎ 始動

任期満了に伴い昨年十一月に行われた宗務総長選挙で選出された、濱中光礼新宗務総長の新内局が、昨年十二月十二日発足した。滋賀院門跡において新内局の親授式が行われ、渡邊恵進天台座主猊下から濱中総長と新内局に辞令が手渡された。任期は四年。

新内局は、総務部長に前延暦寺副執行の小林祖承師、法人部長には前一隅を照らす運動総本部長の壬生照道師、財務部長に前岡山教区宗務所長の山本亮裕師、教学部長に天台宗宗議会議員で関東の宗政会派新成会幹事長の谷晃昭師、社会部長に栃木教区布教師会長の源田俊昭師、一隅を照らす運動総本部長に関西の宗政会派道興会会長の秋吉文隆師がそれぞれ就任した。

■ 新内局の略歴 (天台宗責任役員・参務)

濱中総長及び内局参務の略歴は次の通り。
(敬称略)

● 宗務総長

濱中光礼 (ほまなか こうれい)
昭和十四年生まれ、六十六歳。僧正。滋賀教区金剛輪寺住職。明治大学政治経済学部卒。(宗内職歴) 天台宗民生・児童・主任委員会会長、教区議会議員、宗議会議員二期

● 総務部長

小林祖承 (こばやし そじょう)
昭和二十三年生まれ、五十七歳。大僧都。延暦寺一山止観院住職。叡山学院専修科卒。(宗内職歴) 祖師讚仰大法会

● 法人部長

壬生照道 (みぶ しょうどう)
昭和十四年生まれ、六十六歳。権大僧正。信越教区隣政寺住職。大東文化大学文学部卒。(宗内職歴) 教区議会議員、宗務所長、一隅を照らす運動総本部長

● 財務部長

山本亮裕 (やまもと りょうゆう)
昭和二十一年生まれ、五十九歳。僧正。岡山教区高福寺住職。叡山学院本科卒。(宗内職歴) 教区主事、教区宗務所長二期

● 教学部長

谷 晃昭 (たに こうしょう)
昭和二十三年生まれ、五十七歳。僧正。群馬教区西光寺住職。大正大学仏教学部卒。(宗内職歴) 一隅を照らす運動総本部次長、宗議会議員三期

● 社会部長

源田俊昭 (げんた しゅんしょう)
昭和十七年生まれ、六十三歳。権大僧正。栃木教区龍泉寺住職。大正大学仏教学部卒。(宗内職歴) 教区議会議員、教区布教師会会長

● 一隅を照らす運動総本部長

秋吉文隆 (あきよし ぶんりゅう)
昭和二十四年生まれ、五十六歳。僧正。九州東教区文殊仙寺住職。大正大学仏教学部卒。(宗内職歴) 教区監事、宗議会議員四期

法の灯

あきらけく

東京教区布教師会副会長 加藤 良文

「あきらけく 後の佛のみ世までも光つたへよ 法の灯」

天台宗の宗歌でもあるこの歌は、宗祖大師が十九歳で比叡山に登られた時に詠われたものです。その時に宗祖大師は一乗止観院(今の根本中堂)を建てられ、自ら薬師如来を刻まれて、その前に灯明を点せられ、法の不滅を願われたのでした。

宗祖大師は、比叡山に入山する時に誓われた「願文」で「牟尼の日久しく隱については西郊内局の方針を受け継ぎ、お大師様のみ心の宣布に努めていきたい」と抱負を語った。「三面に関連記事」

前には、一千二百年に亘って三つの「法の灯」が輝き続けています。法の灯は、私たち宗徒にとつて心の拠り所となる光です。それは、宗祖大師の御心そのものであり、「法灯明」として、常に私たちに安心を与え、勇気づけてくれます。

私は、自坊で勤行するとき、ご本尊様に捧げる灯明はいつも比叡山の「法の灯」のつもりで灯し、経典を誦して寺院護持につとめています。法の灯は「消えずの灯」として、今日も比叡山根本中堂・ご宝前にあかあかと輝き続けています。



花想風言

筆者の住む横浜の郊外はかつて相模国の原野だった。いにしえ、といっても乱開発の始まる前の武蔵野から相模野の原野はかつてこうだったのだろなあーと、想いを巡らせるには絶好の場所が横浜市内の県立四季の森公園だ。わずかな面積とはいえシラカシの原生林が残り、マンリョウが咲き、丘からの伏流水が池に注いでいる。

マンリョウはもとも暖かい地方で繁殖した。マレー半島やインド、中国にもあって、我が国には江戸時代の初めに渡来したらしい。

植物学上の分類ではマンリョウはヤブコウジ科、一見よく似ているセンリョウはセンリョウ科の植物だ。

七月に花弁の先がとがった小さな白い花が咲くがマンリョウの真骨頂は、

第22回 マンリョウ 福田徳衍 (文・写真)

野の花が枯れた冬の季節に真っ赤な実を葉に隠れるようにつける姿だ。めざとく見つけた野鳥がついばんだあと、種が糞に混じり地上に落ちる。江戸時代の天保年間にはマンリョウなどの栽培熱が高まり、五十種類を超える園芸品が紹介されている。そのころつけられた名前が万両。センリョウは仙參とも書くが、千両のほうを通りがよい。カラタチバナが百両で、ヤブコウジが十両。ついでながら一両はツルコウジという赤い実だ。

正月の床の間を飾る縁起物の生け花や鉢物としての需要が多く、正月に見かけるマンリョウの実はほとんどが栽培品だといつてよい。

◆プロフィール
一九三八年東京生まれ。十二歳から二十一歳まで比叡山で小僧生活をして過ごした。元朝日新聞記者、信越教区新潟部、徳法院住職、徳谷福田徳衍。

鬼手仏心

蛍の光 窓の雪 前天台宗出版室長 工藤 秀和

送別会の日に、この原稿を書いていきます。任期満了で、故郷の山形に帰ることになりました。このコラムを西郊前総長から引き継いで、十九回連載させていただきました。ご支援、ご愛読下さった読者の皆さまに心から御礼申し上げます。四年間天台宗務庁に勤務させて頂き、色々な思い出が生まれました。天台宗の広報紙として本紙の創刊に拘わったことは、有り難いことでした。

「蛍の光 窓の雪」というところでしょいか、故郷の雪に思いをはせているところなんです。と、いつても、雪のようにこれで消えてしまわうわけはありません。また、機会があれば、書かせて頂くこともあるでしょう。読者の皆さま、どこかで声をかけて下さい。

出合いがあれば、別れがある、諸行無常の教えの通りですが、責任を果たしてホッとしていることも、また実感です。後に続く人のために井戸を掘ることが出来たのだしたら、少し良い気持ちで自坊に帰ることが出来ます。

「今月は、いいこと書いてるじゃない」と言っている朝は別れゆく。

最澄と天台の国宝

第二期は東京で 東京国立博物館 平成館で特別展

本年は、桓武天皇の勅許を受けて天台宗が開宗してから、ちょうど千二百年にあたります。この節目の年を記念して、この春、東京国立博物館、天台宗、比叡山延暦寺、天台宗京都教区、読売新聞東京本社が、「最澄と天台の国宝」と題し、天台宗の仏教美術展を開催します。本展は、昨秋、京都国立博物館で開催され、約八万二千人もの入場者を記録し好評を博した同題の展覧会の巡回展です。

京都会場と同様、東京会場でも、総本山比叡山延暦寺をはじめ天台宗関係寺院に伝わる仏像や仏画、経典、書跡などの宝物約七十件を一堂に展示します。

天台宗の幅広い信仰が育んだ美の世界を堪能していただくと共に、これら名品の数々を創り上げた、祈りを捧げてきた先人たちの真摯な想いを感じ取っていただければ幸いです。

さらに、東京会場

濱中宗務総長記者会見【要旨】

座主猊下より「非常に混沌とした世相であるが、天台宗の進むべき道を取り纏めて頂きたい」というお言葉を頂き、濱中内局をスタートさせた。

門出に当たって、新しい視点で宗門を考えたと思うっており、宗祖大師のお心を大切に、宗政を進めたい。

開宗千二百年慶讃大法会については、前西郊内局の方針を踏襲してゆく。法要はもとより、どのようにすれば、より宗祖大師のみ教えを広めることが出来るかを模索中である。

背伸びせず、力まず、足下を見直して四年間仕事をしたい。

では、東京上野・寛永寺の薬師如来像をはじめとして、岩手・中尊寺や栃木・輪王寺、埼玉・慈光寺、千葉・松虫寺などから、京都会場では出展されなかった関東・東北地方の秘仏・宝物を多数展示します。次号より、展示品の解説を中心していきます。



会期 3月28日(火)〜5月7日(日)
会場 東京国立博物館 平成館 (東京・上野)
お問い合わせハロダイヤル 〇三・五七七・八六〇〇

歩く

新潟県中越地震から一年余 余震の続く現地を歩く



今も避難生活を余儀なくされる旧山古志村の仮設住宅（長岡市内）

平成十六年十月二十三日に起こった新潟県中越地震から、一年以上が過ぎた昨年十一月に、被害が深刻だった川口町と小千谷市の寺院を訪ねた。あまり報道されていないが、現地では今も余震が続き、なお仮設住宅暮らしを余儀なくされている住職もいる。道路などのインフラもようやく応急処置が終わった段階で、本格的な復興は、今年からになりそうだ。地域住民が励まし合って、明日につなげようとしている。

自分の力で歩きたい

被害が大きかった北魚沼郡川口町では、生活道路などは、応急処置はなされているが、ヒビ割れや崩れなど、多くは震災当時のままである。開越自動車道も長岡から六日町までは、車線規制をして震災復興工事が続いている。家屋などの復旧建設工事は、工事関係者の人出不足で、半年から一年待ちの状態である。道路には、青森や千葉、山形といった他府県ナンバーのトラックが走り回っている。川口町・大廣寺住職の古田島善照は、今も仮設住宅で暮らす。朝と夕方に寺を見に行くが復旧にとりかかれるのは、平成十八年の春からになりそうだ。「仮設の人々や、信者さんと励まし合って暮らしている」とい

震災の冬、半壊していた大廣寺は二層近い雪で埋まった。何とか、倒壊はまぬがれたが、法要は出来ない。安全性が確保できないからだ。二階に祀っていた御本尊は、一階に移したが、主な依頼は、車のお祝いと安全祈願、地鎮祭や折衝など「外回り」に限られる。復興が思うにまかせないために仮設で励ましあった人々が親戚に引き取られていくこともある。「そろそろ、淋しいもんネ」。

家族からの要望で、信者が他府県に引越してしまふこともある。古田島は、今、今日一日が無事に過ごせればいいと考えている。「あとのことを考えると何もできない。周りの寺や、他宗派が法事に呼んでくれることもある。震災当時の消防団活動は今も続けている。「地域は、みな共同です。建設業者の手配が付き、寺を建て直せば「また、一から出直します」。

「最初からお地藏さんを作り」と思っていた。鎮守とい

地域は一つ、希望を捨てない



震災後の状況を語る、渡辺覺忍・龍覺院住職



仮設住宅に住みながら寺院復興に夢をつなぐ古田島善照・大廣寺住職

「明るい話題もある。結婚式当日に地震被害にあった十日町・本城院の服部諦圓・昌子夫妻には昨年十一月に男の子が生まれた。震災を乗り越えていこうと

復興わらべ地蔵に託す願い

長岡市の国営越後丘陵公園には、未だに故郷へ帰ることのできない山古志村の人々が入居している仮設住宅が並ぶ。その一帯は、満洒な建て売り住宅が新興住宅地を形成し、複雑な対比を見せている。

ここには、平成十七年三月に京都の仏師・松本明慶が彫った「復興わらべ地蔵」がある。震災で地形が変わるほどの被害を受けた山古志村で、倒れた三本の杉の木から、松本が彫り出したものである。

倒れた杉の樹齢はおおよそ二百年だった。松本は、震災直後に立ち入り禁止だった村に、村長の特別許可をもらって入った。その時は、二層を超える雪が積もっていた。

「地蔵の底にいても助けてくれるのがお地藏さん。心を和ませてくれますので、毎日お参りできる方はお参りしてあげてください。頭をなでてあげてください。必ず自分にも笑顔と元気がもらえるはず。未永く大切にしてもらえようお願いします。」



仮設住宅の各集会所に祀られている「復興わらべ地蔵」

「家」に帰ってくる。それだけ見れば、どこにもある日常風景だ。違うのは、被災者が住んでいるのがバラック建ての仮設住宅で、誰もがその日常を望んでいないということである。日本海から吹き寄せてくる荒い風に吹かれて、仮設住宅の道路に佇んでいると、自分が何もできない、無力なよそ者であることが身にしみる。

松本が彫った九体のわらべ地蔵は、山古志村にもあるが、多くは、この仮設住宅街のそれぞれの集会所を訪ねて、お地藏さんの写真を撮らせてもらうことは、気の重い仕事だった。各集会所に集まっている山古志村の人々に話を話して撮影の許可をもらう。「取材」などというよそ者の言葉は使えない。「すみませんが、京都の仏師が作られた地蔵さんの写真を撮らせて

する新しい命の誕生である。マスコミでは、もうほとんど報道されることもないが、現地ではまだ震度三程度の余震が続いている。小千谷市岩沢町の龍覺院（渡辺覺忍住職）へ至る山道は、まだ崖崩れで挟れたままになっていた。渡辺は「正月行事は、それなりにさせてもらいましたが、雪がひどくて四層ぐらいい積もった。十回くらい雪ホリをしました」という。半寺半農で、田んぼもやっているが、地震で地面にヒビが入り、半分が苗がダメになったという。震災で信者四件が村を出た。「過疎の村で四件は、こたえます」。

それでも、元氣なうちは寺を守り、村人と共に仏を護っていく。く

平成十八年 謹んで新年のお慶びを申し上げます

妙法院門跡 門主 菅原 信海 執事長 木ノ下 寂俊	曼殊院門跡 門主 半田 孝淳 執事長 松景 崇誓	日光山輪王寺 門跡 菅原 栄光 執事長 小暮 道樹 〒321-1494 栃木県日光市山内三〇〇 電話 〇二六八-五五〇〇三三	東叡山輪王寺門跡 門主 神田 秀順 執事長 浦井 正明	善光寺本坊大勧進 貫主 小松 玄澄 〒380-1492 長野県青野町四九一 電話 〇二六-三三三〇〇〇	医王山毛越寺 貫主 南洞 頼教 〒029-4102 岩手県早稲野早米五八 電話 〇一九一-四〇三三三三	西国第一番靈場 那智山青岸渡寺 住職 高木 亮享 TEL 〇五五-五五五〇〇〇 FAX 〇五五-五五五〇七五	厄除元三大師 深大寺 住職 谷 玄昭 東京都調布市深大寺五十五 電話 〇四一四-八〇五五二
---------------------------------	--------------------------------	--	-----------------------------------	--	--	--	--

一隅を照らそう

あなたの周りでの出来事、ご感想をお待ちしております。また、取材について「こんな出来事、あんな人々」をお知らせ下さい。封書、FAX、Eメールで、天台宗務庁出版室までお送り下さい。

天台宗務庁 総務部 出版室
〒520-0113 滋賀県大津市坂本4-6-2
TEL 077-579-0022 FAX 077-578-4814 Eメール: T-Press@tendai.or.jp

あなたの中の仏に会いに
あなただけの御開扉します
延暦寺根本中堂御本尊
薬師瑠璃光如来を御開扉します
平成十八年一月二十六日に
開宗十一百年祥当の記念日を迎えます
これを記念し
一月一日から二十七日まで

天台宗は
平成十八年一月二十六日に
開宗十一百年祥当の記念日を迎えます
これを記念し
一月一日から二十七日まで
延暦寺根本中堂御本尊
薬師瑠璃光如来を御開扉します

詳しくは 〒520-0113 滋賀県大津市坂本4-6-2 天台宗務庁
天台宗開宗1200年慶讃大法会事務局
TEL 077-579-0022 FAX 077-578-4814

本尊薬師縁日で終日賑わう

= 東海教区・高田寺 = 大法会記念の書道展も

東海教区の医王山・高田寺（愛知県西春日井郡・柴田真成住職）で昨年十一月十三日に大護摩供法要が厳修された。この法要は、同日が国宝・



本尊薬師如来大縁日にあたる事から営まれたもので、関連行事も種々開催され、同寺院内は大勢の参拝者で終日大賑わいを見せた。

高田寺は、平安時代の三蹟のひとり小野道風が、眼病平癒と書道達を祈願した御札に、古筆と「医王山」の扁額を奉納したと伝えられている。道風ゆかりの寺である。関連行事では、「第二十五回わんぱく子供相撲大会」や「生け花展」などの奉納が行われた。特に開宗千二百年慶讃記念として開かれた「第二十二回高田寺道風公献書展」では、東海三県から千七百二十点もの作品が寄せられ、「筆供養」に続いて行われた表彰式では、堀沢祖門叡山学院院長より、熊野中三年堀部真未さんに「天台座主賞」が、淑徳中二年堀場瑠莉さんに「天台宗書道連盟会長賞」が贈られた（写真）。

新年が来ましたか



コンパス
天台宗宗機顧問
杉谷義純

去年今年 貫く棒の如きもの（高浜虚子）
新年を迎え今年こそと張り切っている人には、いささか水を差されるような句です。
しかし、今年を充実した良い年にするためには、去年の過ごし方が大きく影響を及ぼします。昨年のことをすっぱりと切り捨て、白紙で新年に臨むことはできません。

昨年は本当にいろいろな事件が起きました。それらの特徴は、社会全体が病んでいるのではないかと思わせるものが、少なくありませんでした。JR脱線事故、幼女殺害事件、違法危険建築事件等々、枚挙にいとまがありません。

とまがりませぬ。もちろん犯人は厳しく断罪され、又贖罪すべきでありますが、それだけでは問題の解決にならないところまで来ています。
今の社会を象徴するような事件が、年末に起こりました。みずほ証券という会社が、東京証券取引所にある会社の株式を、一株六十一万円で売りに出すところを、誤って一株一円で六十一万株を売りに出してしまったのです。単純なコンピュータへの入力ミスです。すぐに誤りに気がついて取り消しましたが、今度ではコンピュータが作動せず、すべて売買が成立してしまいました。

常識では一株一円が上場される株などありません。知ら、多くの投資家が誤りを知りながら、一攫千金とばかり平気で買ったわけです。人のミスを踏み台に数秒で何千万円も儲けた輩が出たわけです。現行法では合法的な取引ということらしいのですが、なんとなく割り切れません。投機とは売り手と買い手の思惑が一致して、はじめて成立するものです。

もともと投機とは仏教用語で、弟子の機根を師匠が見極め、自分の機根を投合させて導くことを意味するのですから、お釈迦さまもびつくりです。いくら合法とはいえ、相手のミスに乗じることは、著しく商道徳に欠けるばかりでなく、自分を貶めることにすらなるのではないのでしょうか。利潤追求を至上とし、露見しなければいいという風潮が蔓延し、人間が人間であるための心の岩である倫理観が、風前の灯となつています。

わが宗では開宗千二百年を記念して「あなたの中の仏に会いに」をスローガンに、総授戒運動を展開しています。この授戒の意義を僧侶や檀信徒が主体的に受けとめ、本当に自分の中の仏探しをしてほしいものです。即ち時代の風潮に流されそうなの自分をきちんと点検し直すことが肝要です。そうでないとい暦の新年になつても、本当の新年とはいえないでしょう。

教区法儀研修会を開催

= 栃木教区・清原行院長講師に =

昨年十一月三十日に栃木教区宇都宮部の智音寺（鹿沼市・矢島貞昌住職）において栃木教区法儀研修会「布薩研修会」が開催された。



研修会は延暦寺一山弘法寺住職の清原恵光大僧正（比叡山行院長）を講師に迎え、教区内住職、法嗣等四十四名が参加して行われた（写真）。

同日は午前九時三十分より開講され、旭岡聖順同教区宗務所長の挨拶に続き「布薩について」と題して清原師の講義があり、午後には「布薩作法」実習が二度に亘り行われ、参加者たちは熱心に取り組んでいた。（報告 = 本橋亮成通信員）

布薩の理論と実践を中心に研修

このDVDとビデオは延暦寺居士林研修道場の坐禅止観作法を採用して作成されたもので、入堂から退堂までの作法が四十四分間にコンパクトにまとめられている。各教区宗務所に提供されるが、このDVDの複製は許されているので、教区だけでなく、寺院においても、様々な場面で活用されることを望まれている。



DVD版「坐禅止観」

DVD/ビデオ
指導の手引き
「坐禅止観」完成
会務
法務
大事

天台宗では、このほど、開宗千二百年慶讃大法会を記念して、DVDとVHSビデオ「坐禅止観 指導の手引き」企画 天台宗務所・比叡山延暦寺）を発刊した。

更なる檀徒 教化を誓う

兵庫・戒光院 住職晋山式
去る平成十七年十一月十二日、兵庫県明石市の戒光院において、本山特使に清原恵光延暦寺一山弘法寺住職を迎えて、藤井祐朋住職の晋山式が執り行われた。

当日は総勢四百名に上る賑やかな稚児行列があつた後、本堂にて辞令伝達があつた。本堂には来賓、同寺法縁寺院はじめ、数多くの檀信徒が随喜参列。厳かな雅楽がながれ



中、清原本山特使から辞令が伝達され、前任職の藤井亮俊師より法脈が相承された。来賓、法縁寺院を代表して清原師が「前任職を規範として更なる檀信徒の教化に努めていただきたい」と祝辞を贈った。（報告 = 小杉映道通信員）

祝新任職任命

【東海・浄土寺】尾関大全師
【兵庫・延命庵】郷司泰静師
【四国・薬師寺】青峰良陽師
（平成17年11月18日、平成17年11月30日 法人部調）

示寂

光永 澄道師
平成17年11月30日遷化
滋賀教区伊崎寺住職
平成17年12月4日日本葬儀執行

命特所 宗務所 天台三諦章

山寺序達
本務所用
総延宗御

五代目 森 忠兵衛

〒604-0842 京都市中京区押小路通烏丸東入
電話 075-231-1203 番
FAX 075-255-7020 番

本堂と寺院墓地改修落慶

一昨年の台風被害を機に改修

〔兵庫寺〕



兵庫教区の和田寺(篠山市・武内善照住職)では、一昨年の台風で被害を受けた本堂の改修工事が完成。昨年十一月二十六、二十七日に「本堂並びに寺墓地大改修落慶慶讃本尊開帳法要」を厳修(写真)、約三百年ぶりにご本尊の「千手観世音菩薩」を一般公開した。同寺は六四六年に法道仙人が開いたといわれ、八二〇年に天台宗に帰属、一三〇〇年を越える

歴史を誇る古刹である。当初、天台宗開宗千二百年を記念して歴代住職らの墓地の改修を計画していたが、台風のために本堂の銅板大屋根が大きな被害を受けたため、併せての大改修を一昨年十二月より行っていた。

二十六日は午前九時三十分から、本堂までの参道で稚児行列が賑やかに行われ、続いてご本尊開扉法要が営まれた。午後は、「歴代住職住侶墓地大改修竣工開眼法要」が修された後、同寺福聚法会会

午後には丹波市のコーラスグループ「やまびこ」のメンバーによる慶讃聖歌の奉納があった。紅葉に彩られた境内は、両日共に檀家の人々や、参拝客で大賑わいだった。(報告)赤松善彰主事・鷲尾隆田通信員

米國全土や欧州布教展開へ

ネエモン住職 本堂完成報告に来庁

ニューヨーク別院

天台宗ニューヨーク別院のポール・ネエモン住職が、十一月二十日、同別院の堂衆(僧侶)ら九人とともに、天台宗務庁と総本山延暦寺を訪れ、本堂完成の報告と天台宗開宗千二百年慶讃大法会の報恩の誠を捧げる法要を行った。

「い」と抱負を述べた。今回の来日は、信者のメンバーと初めて総本山延暦寺に参拝する旅でもあった。別院で八年修行したという同行の堂衆の昇真師(サンドラ・ジーン)は「日本は美しい国で、皆心から親切にしてくれる。初めて伝教大師が修行された地であり、天台宗発祥の地である比叡山にお参りできて感激している」と語った。

ネエモン住職は「本堂が落成したことで、地域から寺院が増えた。また町の平和集会や会議などに使われることも多く、地域のコミュニティとして利用されることは有り難い」と語り、更に今後は「アメリカ全土や、ヨーロッパでも布教を展開した



員によるご詠歌・舞踊の奉納があった。二十七日は午前十時からご本尊・千手観世音菩薩の開帳法要が執り行われ、

「もつとも優れた生」が「目的を達成する」。これは人の名前である。「もつとも優れた生」は「ゴータマ」、「目的を達成する」は「シッダールタ」である。仏教の祖ブツダの名であるわけだが、案外知られていないこともかも知れない。さらに、ブツダが過去世でスーマダ(善慧)という青年で、ゴータマ・シッダールタとして人間界に生まれ出るまで、亀、兎、鳥、猿、鹿、馬などの動物や、獅子、竜王、夜叉、或いは人間

「地図とあらすじで読む ブツダの教え」高瀬広居「監修」青春出版社刊

話などにも影響を与えたという。以上のことは、本書の序章「ブツダの前世物語」で知り得たことである。シッダールタは如何にしてブツダに成り得たのか、そして何を伝えようとしたのか。本書はブツダの生涯からその教えまで、「仏教」の世界観を簡潔かつ平明に解らせてくれる内容を持っている。ブツダの誕生、樹下の瞑想と四門出遊、チュンダの供養と入滅など、第一部で「ブツダの生涯」をたどり、第二部



私設学寮 妙法院南叡学寮生募集

京都三十三間堂の本坊、妙法院が開設する宗門の法嗣養成機関で、僧侶として必須の法儀・作務を習得しながら市内大学に通学するものです。

- 募集人数 若干名
- 資格
 - 天台宗法嗣として得度している者
 - 市内大学(学部不問)及び叡山学院に在籍する者(来春4月入学予定者含む)
 - 年齢不問
- 処遇特典
 - 月例の講義(宗学・法儀)
 - 個室・食事供与
 - 通学、研究費補助
 - 学費(一般)の一部補助
- 募集期間 ○平成17年12月10日～18年3月末日

まず、下記までご連絡下さい。
京都市東山区七条上ル 妙法院門跡・本坊
電話：075(561)1744

特別授戒会執行状況 (12月10日現在)

◆近畿教区	11月28日	
青岸渡寺		戒弟311名
圓教寺		已講大僧正
◆滋賀教区	12月4日	
石塔寺		戒弟116名
毘沙門堂		探題大僧正

十二月十二日は、新旧内局の交代と引き継ぎが行われた。去る人、来る人にそれぞれ部課の女子職員から花束が贈呈され、師走の天台宗務庁は時ならぬ花の香で包まれた。濱中新総長が「皆さまの協力を得て、宗務を行いたい」と静かに決意を述べ、西郊前総長は「四年間、ありがとう」と大音声で手を振りながら宗務庁を去った(写真) ●それにしても、四年というのは長いのか、短いのかと考える。天台宗の出版をお手伝いしてから、これまで杉谷、藤、西郊の三師にご指導を頂いて十余年が過ぎ、濱中総長で四代目の内局に教えを頂くことになる。考えてみれば、自分は十年一日で過ぎた者で、四年の長短を考える資格などないのかも知れない。新年を迎えるにあたり、せめて、もう少し精進しようとして、これまた昨年と同じことを考えている。

九十名の布教師が参加した。研修会は、大正大学多田孝文教授を講師に「教学のすずめ」と題した講演が行われ、併催されている教学大会教学部門の聴講、翌十二日には、布教師六名が布教師部門で発表を行った。

十二月二十八・二十九日の両日、延暦寺会館を会場に、第三十四回天台宗檀信徒祖山参拝研修会が開催され、全国から約四十名の檀信徒が参加した。

デスクから

十二月十二日は、新旧内局の交代と引き継ぎが行われた。去る人、来る人にそれぞれ部課の女子職員から花束が贈呈され、師走の天台宗務庁は時ならぬ花の香で包まれた。濱中新総長が「皆さまの協力を得て、宗務を行いたい」と静かに決意を述べ、西郊前総長は「四年間、ありがとう」と大音声で手を振りながら宗務庁を去った(写真) ●それにしても、四年というのは長いのか、短いのかと考える。天台宗の出版をお手伝いしてから、これまで杉谷、藤、西郊の三師にご指導を頂いて十余年が過ぎ、濱中総長で四代目の内局に教えを頂くことになる。考えてみれば、自分は十年一日で過ぎた者で、四年の長短を考える資格などないのかも知れない。新年を迎えるにあたり、せめて、もう少し精進しようとして、これまた昨年と同じことを考えている。

私の法句経

天台宗宗機顧問 藤 光賢

(2)

おのれこそ

おのれのよるべ

おのれを措きて

誰によるべぞ

よくとのえし

おのれにこそ

まことえがたき

よるべをぞ獲ん

法句経 一六〇

第十二章「自」

より

お釈迦様は、なくなる直前に、最後の教えである「自灯明法灯明」を示されました。

「自らを灯明とし、法を灯明とせよ」という意味です。

「大パリニツバーナ経」には「この世で自らを鳥とし、自らを頼りとして、他人を頼りとせず、法を鳥とし、法をよりどころとして、他のものをよりどころとせずにあれ」

(中村元訳「ブツダ最後の旅」とあります。

お釈迦様は、説法の旅の途中で死病に倒られますが、一時は回復して小康状態を得られます。その時、若い弟子

阿難尊者が「私が、これから進むべき道、教えも私にはまだ明らかでない。それなのに、お釈迦様は、涅槃に入られるのかと心配でしたが、これで安心です」と言うのを聞いたお釈迦様は「私に何を期待するのか。教えはすでに説いている。私がいる、いないにか

世の中には、自信過剰な人がいます。「自分のすること間違いはない」と大言壮語する人は、破滅の道を進むことが多いものです。

自らを灯明とし 法を灯明とせよ

大海の中に放り出されたような状態になっても、自分を揺るぎない島と感ずることができ、自立して歩むことの重要性を説かれたものですが、その裏付けになるのは「よくとのえし、おのれ」ということ

かわらず、自分を頼りとし、正しい教えを頼りとしなさい」と諭されたのです。

自分の人生に責任を持って、自立して歩むことの重要性を説かれたものですが、その裏付けになるのは「よくとのえし、おのれ」ということ

三年になったとき、トップの孤獨を覚悟の上で、生徒会長のポストに就いてしまった。ときには、くたびれてうつつむき加減になることがある。大丈夫？と聞けば「おかん(お母さん)の苦勞にはかなわない」と言っただけからない。

「やっつみなきや分かんもんだよね」お母さんの話のなかによく

三年になったとき、トップの孤獨を覚悟の上で、生徒会長のポストに就いてしまった。ときには、くたびれてうつつむき加減になることがある。大丈夫？と聞けば「おかん(お母さん)の苦勞にはかなわない」と言っただけからない。

「やっつみなきや分かんもんだよね」お母さんの話のなかによく

雪が溶けて 川となつて

(10)

幹夫は二年生から受けもった子である。彼はいつも自分が納得しながら生きることを大切にしていた。そのせいか彼の口をつけて出る言葉には妙に説得力があった。

たとえば、席替えは生徒たちにとって最も関心のあるテーマだ。出発したばかりのクラスには出会いの機会を公平均等という観点から、くじ引きでなく話し合いで決めようという彼の提案だった。

時期尚早でこの案は見送られたが、「すべての人が自分を出し切

出したのだろう。議論すきではあるが、議論のための議論を好んでいるふうでもない。言葉足らずでも率直な発言には心を寄せる。仲間の気持ちを大切に思う柔軟さがある。

ある母子を見守る高校担任の手記

おかんの苦勞にはかなわない!

ある母子を見守る高校担任の手記

出てくるフレーズだ。わが子を大きく信じながら、良さも悪さも幹夫が納得するまでじっと待ち、「もうこれしかない」ところまで本人が煮詰まるのを待つ一つの道筋を指し示す。だから母子家庭のハ

三年になったとき、トップの孤獨を覚悟の上で、生徒会長のポストに就いてしまった。ときには、くたびれてうつつむき加減になることがある。大丈夫？と聞けば「おかん(お母さん)の苦勞にはかなわない」と言っただけからない。

「やっつみなきや分かんもんだよね」お母さんの話のなかによく

ありませぬ。このときに、仏法が「おのれのよるべ」になるのであります。

私たちは、「自由」という言葉を、気軽に使います。特に、若い人たちは自由が大好きです。その人たちは、自由とは、何の束縛もなく、勝手気ままに振るまえることだと思つています。果たしてそんな単純な言葉でしょうか。

自由とは、自らに由るということです。由とは「依り従う」という意味があります。つまり、自由とは自らに依り従うということなのです。

自由に生きるというのは、現代人にとってひとつの理想です。そして自由生きることは「よくとのえし、おのれのよるべ」によつてのみ可能なのです。

自由とは、自らに由るということです。由とは「依り従う」という意味があります。つまり、自由とは自らに依り従うということなのです。

素晴らしい言葉たち

小さいほうがいい

花は小さいほうがよがっぺ
なんでだつて?
そりゃ きまつてるがな
萎んだ時のこと考えでみろや
大え花は 悲しみもまた大えからよ
幸福も やつぱり小粒がよがっぺ
なんでだつて?
そりゃ きまつてるがな
大え幸福 つかんでみろや
有頂天になつちやつて
おらの目ん玉さ 他人の涙が
見えなく なつちやつからよ

高野つる著「足んこの歌」より
らくだ出版 刊

高野つるさんは、千葉県香取郡の徳星寺の一隅を照らす運動会員です。本紙の姉妹誌である「ともしび」の読者で、八十歳。この「足んこの歌」が第三詩集になるとお手紙をいただきました。
「七き母の七年、夫の十七年供養の足しになれば」と書いておられます。
どの詩も心うたれる内容です。
特に、この「小さいほうがいい」には、方言のなんともいえない味があります。
「私が、小学四年生の時、ばあちゃんがいってこと」というサブタイトルがつけられているのに興味を引かれて、高野さ



カット・伊藤泰三「風車」(アトリエ・ウーフ)



足んこの歌